

厚生常任委員会

1. 主な事業の動き

「府中市子育てパッケージ ～3か年プロジェクト～」

令和5年度

1年目：「安心して子育て」できるメニュー

（横断的なニューボラ事業）

- 子どもの予防的見守り支援事業として、子どもの育ちにつながるリスクをシステムや関係者の気づきにより早期に発見し、関係者との情報共有を行い、問題を未然に防止する
- 医療費助成を10月より、所得制限なしで対象年齢を18歳まで拡大する
- 三世帯同居・近居支援事業として、親世帯と同居や近居を促進することで安心した暮らしができるための支援を行う
- 子どもを授かることを望む夫婦等に対し、経済的・精神的負担の軽減として、不妊治療・不育症に対する助成を行う など



令和6年度

2年目：「暮らしやすい」を追求できるメニュー

（仕事と子育ての両立を応援！）

- 保育料の無料化を、0歳～2歳児も行う
- 育児や介護の隙間にできる仕事の就労支援を行う
- 発達の状態や障害特性に応じて、支援できる療育的保育の充実を行う



令和7年度

3年目：「心と体を育む」豊かな経験メニュー

（子どもの可能性を最大限に！）

- 大自然で食の大切さを育む保育の推進を行う
- 放課後の居場所づくりとして、公民館などを使った地域の人とふれあう機会を創出する
- 子育て専用の公営住宅の整備を行う



2. 委員会の活動

(1) 管内視察

① 日程：5月23日（火）

視察先：旭小学校、府中学園

目的：放課後児童クラブの運営状況と児童数の関係について

成果：両校とも児童数は減少しているが、保護者のニーズもあり、利用者は増加傾向にある。府中学園については、児童数が多いため、人材確保が艱難となっている。また体調不良の児童が休める場所の確保や長期休暇中にクラブで過ごす時間が長時間となることもあるため、早急な施設整備が必要。



(2) 行政視察

① 日程：7月26日（水）

視察先：愛知県大府市

目的：認知症に対する不安のないまちづくり推進条例
成年後見制度の利用の促進に関する条例

成果：大府市の高齢化率は21.56%、府中市は38.68%（7月1日現在）と高齢化率は府中市が高い。フレイル予防など認知症予防に対する支援は当市でも行っている。しかし、条例を制定しボランティアとしての「認知症サポーター制度」などを取り入れ、市民、事業者、地域組織、関係機関、市の役割を明確化したサポート体制は、今後も高齢化が進む中、当市の取り組みの参考となった。

成年後見制度利用促進については、市役所内に「成年後見センター」を設置し、総合相談窓口となり、三士会（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会）との連携を取り、対応している。府中市の体制として需要と供給のバランスでここまでの体制が必要か、今後の高齢化を含めて研究していく必要があると感じた。



② 日程：7月27日（木）

視察先：兵庫県明石市

目的：子育て支援事業

（0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」など）

成果：明石市は、物資と毎月プッシュ式でこちらから出向いて状況把握や相談窓口、現地でのアドバイスを行っている。この仕組みは、当市としても少子



化対策の一つの戦略として考えてみる価値はある。また、市のビジョンが市役所目線ではなく、きちんと市民と市外の方の目線に立った施策を考え、実行していることは学ぶべきところではあった。

③ 日程：7月28日（金）

視察先：兵庫県相生市

目的：子育て応援都市「11の鍵」

成果：相生市は、「選択と集中」により、自主的・自立的な地域経営を目標に「子育て応援都市宣言を行い、子育て世代をターゲットに定住促進を図る」として、「11の鍵」事業を展開している。当市と同様に財源は厳しく、限りがあるため、どこに集中させるかという「選択と集中」の必要性など学ぶべきところがあった。



④ 日程：8月21日（月）

視察先：広島県尾道市

目的：認定こども園ほかについて

成果：平成19年度から認定こども園をスタートし、利用者の満足度を踏まえ、尾道市就学前教育・保育施設再編計画を柱に設置推進されている。府中市も、少子化による保育施設の定員割れなど、今後施設再編が必要な中で、令和7年から5年間の「府中市子ども・子育て支援事業計画」に認定こども園制度も視野に入れて検討するよう提言して行きたい。



(3) 意見交換会

① 日程：5月17日（水）

相手先：社会福祉法人広谷福祉会（セイフティー信和）
社会福祉法人静和会（府中静和寮）

成果：全体的に近々の課題として、介護職員の慢性的な不足と、今後10年間の予測として、団塊世代の影響による一時的な増加や以降の利用者減少など今後の対策が急務となっている。

② 日程：5月17日（水）

相手先：府中市内私立保育所・保育園（国府、和光園、リョービ、たんぼぼ、中須たま）

成果：府中市内の保育所、保育園からは、急激な少子化により定員減となっており、先行きが見えないなどの意見が出た。今後の保育計画を早急に策定するよう要望していく。

③日 程：9月1日（金）

相手先：府中市病院機構

成 果：現在、府中市民病院や府中北市民病院は患者数が減少傾向にある。減少の要因分析に疑問を感じることはあったが、市として今後患者が減少していく中で、3 病院の機能のあり方について財政を含め検討する必要がある。

